

特定非営利活動法人 大阪市難聴者・中途失聴者協会
令和4年度 第4回理事会 議事抄録

1. 開催日時 令和4年8月6日(土) 13:30~14:45
2. 開催場所 各自自宅でZoom参加。 小路事務所4人
3. 出席者14名 (委任状1名)
4. 議長 栗山敬
5. 署名人 佐々木美恵 高田良雄

6. 議題

第1議案 例会の件(栗山理事長)

●野外例会(10月)

◇嵐山で決定。

栗山理事長と高田(郁)理事で9月11日(日)に下見。

トロッコとか川下りの意見も出たが、無理せず駅近散策との意見も。

●8月例会中止だが会場費返金なし。

●生野社協から限度額が5万円の助成金の案内を入手。

「ヒグチヨシエ先生の体幹トレーニング」で申請したが、まだ返事なし。

第2議案 女性部報告(高田理事)

●報告案件なし。

第3議案 長居スポセンの荷物の件(栗山理事長)

●8月5日長居障がい者スポーツセンターの倉庫内の整理実施。不要物は小路事務所へ。
木材系の不要物、栗山、安達で処分。

第4議案 NPO 法人大阪盲ろう者友の会設立30周年の記念ファイルの当協会での販売の件

第5議案 同通訳介助者養成研修案内受講案内などの当協会での配布の件

●第4議案、第5議案について

物品販売は不可。チラシは当協会例会、つばさ例会時受付に置く。

第6議案 その他、自由発言、提言等

●次回理事会

メールにて連絡して、出欠を取り開催日を決める。

●機関誌配送

クラフト封筒→帯封筒に変更 詳細は次回

●今後機関誌を市身協に送る。

以上

(文責 高田 良雄)

特定非営利活動法人 大阪市難聴者・中途失聴者協会
第2回「令和4年度 第17回元気の出る集い実行委員会」議事抄録

- ・開催日時 令和4年8月6日(土) 15:25～16:30
- ・開催場所 各自宅 Zoom 及び小路事務所
- ・出席者 栗山理事長以下13名 委任状1名

1. 記念講演講師の件

◆テーマをはっきりと決め、記念講演の講師に依頼文を発送したい。

先に決めたテーマは、「コロナ禍で私たちの要約筆記はどう変わったか。」このテーマについて各理事の意見を集約した。

結論：

議論の結果、テーマは「コロナ禍で私たちの要約筆記はどう変わったか。」で決定。

◆講師の依頼

結論：

速やかに依頼の連絡を取る（8月に依頼して、返事期限は9月いっぱい）。

難聴者講師：全難聴要約筆記副部長で、三重県難聴・中途失聴者協会 藤谷会長

要約筆記者：徳島の要約筆記者・手話通訳者 三井様

2. Zoom 視聴の件

◆来年の2月もコロナがどうなっているのか不明。皆さんが会場で参加できない場合もあるので、各地域で会場を借りサテライト会場として Zoom 配信をし、そこで視聴をできるようにする。この方法はどうか？

◇Zoom 配信を市協会では実施するには技術的、時間的に困難だという議論が大勢。

結論：

元気の出る集いは現地会場（長居障がい者スポーツセンター）のみにて開催、Zoom 配信、ユーチューブ配信はしない。コロナ感染状況次第では中止とする。

3. チラシの件

◆記念講演の人が決まり次第、チラシを松尾事務局長が作成し、理事会の承認を得て印刷する。完成期限は、11月ごろを予定。

4. 行政、公共、協力、協賛団体の確認の件

◆次回へ、保留

5. 役割分担の件

◆次回へ、保留

※その他

当協会の要約筆記専門部フォローアップ勉強会つばさは、今後難聴者に必要な「元気の出る集い」をはじめ、いろいろな場面で協力させていただきたい。

以上

(文責：高田 良雄)